

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 25 年 8 月 15 日 (2013.8.15)

【公表番号】特表 2012-529063 (P2012-529063A)

【公表日】平成 24 年 11 月 15 日 (2012.11.15)

【年通号数】公開・登録公報 2012-048

【出願番号】特願 2012-513336 (P2012-513336)

【国際特許分類】

G 0 3 B 21/14 (2006.01)

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

G 0 2 B 26/10 (2006.01)

G 0 2 F 1/13 (2006.01)

G 0 2 F 1/13357 (2006.01)

G 0 2 B 27/26 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 21/14 A

G 0 3 B 21/00 D

G 0 3 B 21/00 Z

G 0 2 B 26/10 C

G 0 2 F 1/13 5 0 5

G 0 2 F 1/13357

G 0 2 B 27/26

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 5 月 28 日 (2013.5.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

投射システムであって、

画像またはビデオ信号を受信するためのインターフェースと、

複数のレーザダイオードを含む光源であって、前記複数のレーザダイオードは第 1 のレーザダイオードを含み、前記第 1 のレーザダイオードは、非極性または半極性であり、かつ、窒化ガリウム材料から作製される、光源と、

前記光源に電氣的に接続された電源とを含む投射システム。

【請求項 2】

前記第 1 のレーザダイオードは、非極性配向によって特徴付けられる青色レーザダイオードであることを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記第 1 のレーザダイオードは、半極性配向によって特徴付けられる青色レーザダイオードであることを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記第 1 のレーザダイオードは、非極性配向によって特徴付けられる緑色レーザダイオードであることを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 5】

前記第 1 のレーザダイオードは、半極性配向によって特徴付けられる緑色レーザダイオード

ドであることを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 6】

前記複数のレーザダイオードは、第 1 のレーザダイオード、第 2 のレーザダイオードおよび第 3 のレーザダイオードを含むことを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 7】

前記第 1 のレーザダイオードは、490 nm ~ 540 nm の波長範囲で操作可能な緑色レーザダイオードで、半極性の { 20 - 21 } 面配向を特徴とする請求項 6 に記載のシステム。

【請求項 8】

前記緑色レーザダイオードは、投射方向が実質的に c 方向であるキャビティ配向を特徴とするストライプ領域を有する請求項 7 に記載のシステム。

【請求項 9】

前記第 2 のレーザダイオードは、490 nm ~ 540 nm の波長範囲で操作可能な緑色レーザダイオードで、極性 c 面配向を特徴とする請求項 6 に記載のシステム。

【請求項 10】

前記第 2 のレーザダイオードは、430 nm ~ 480 nm の波長範囲で操作可能な青色レーザダイオードで、極性 c 面配向を特徴とする請求項 6 に記載のシステム。

【請求項 11】

光エンジンであって、

駆動信号を受信するための通信インターフェースと、

複数のレーザダイオードを含む光源であって、前記複数のレーザダイオードは第 1 のレーザダイオードを含み、前記第 1 のレーザダイオードは、非極性または半極性であり、かつ、窒化ガリウム材料から作製される、光源と、

前記光源に電氣的に接続された電源とを含む光エンジン。

【請求項 12】

前記複数のレーザダイオードを選択的に切り換える制御モジュールをさらに含むことを特徴とする請求項 11 に記載の光エンジン。

【請求項 13】

前記複数のレーザダイオードのうち少なくとも 2 つからの出力を組み合わせるための光学部材をさらに含むことを特徴とする請求項 11 に記載の光エンジン。

【請求項 14】

一以上の液晶オンシリコンパネルを含むことを特徴とする請求項 11 に記載の光エンジン。

【請求項 15】

前記複数のレーザダイオードは、第 1 のレーザダイオード、第 2 のレーザダイオードおよび第 3 のレーザダイオードを含むことを特徴とする請求項 11 に記載の光エンジン。

【請求項 16】

前記第 1 のレーザダイオードは、490 nm ~ 540 nm の波長範囲で操作可能な緑色レーザダイオードで、半極性の { 20 - 21 } 面配向を特徴とする請求項 15 に記載の光エンジン。

【請求項 17】

前記緑色レーザダイオードは、投射方向が実質的に c 方向であるキャビティ配向を特徴とするストライプ領域を有する請求項 16 に記載の光エンジン。

【請求項 18】

前記第 2 のレーザダイオードは、490 nm ~ 540 nm の波長範囲で操作可能な緑色レーザダイオードで、極性 c 面配向を特徴とする請求項 15 に記載の光エンジン。

【請求項 19】

前記第 2 のレーザダイオードは、430 nm ~ 480 nm の波長範囲で操作可能な青色レーザダイオードで、極性 c 面配向を特徴とする請求項 15 に記載の光エンジン。

—